

令和6年7月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年7月分について、輸出額は「石油製品」などが減少したものの、「有機化合物」、「映像機器」などが増加したことから、対前年同月比 5.6%の増加となった。また、輸入額は「非鉄金属鉱」、「有機化合物」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが増加したことから、同 32.0%の増加となった。  
その結果、差引額は1, 144億円（同 66.1%の増加）の輸入超過となった。

区 分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差引額（▲は輸入超過）	伸 率
四日市港	936億円	+5.6%	2,080億円	+32.0%	▲1,144億円	+66.1%
	12ヵ月連続の増加		4ヵ月連続の増加			

			概 況 品 名	金 額	伸 率				概 況 品 名	金 額	伸 率
輸 出	増加品目	( 1 )	有機化合物	89億円	+66.4%	輸 入	増加品目	( 1 )	原油及び粗油	1,086億円	+23.3%
		( 2 )	映像機器	20億円	+186.9%			( 2 )	石油製品	178億円	+86.8%
		( 3 )	写真用・映画用材料	24億円	+90.0%			( 3 )	液化天然ガス	263億円	+24.1%
	減少品目	( 1 )	石油製品	62億円	▲22.8%		減少品目	( 1 )	非鉄金属鉱	14億円	▲39.4%
		( 2 )	自動車	71億円	▲9.9%			( 2 )	有機化合物	23億円	▲12.1%
		( 3 )	原動機	19億円	▲21.4%			( 3 )	電気回路等の機器	5億円	▲33.2%
	地域別 動 向	アジア、北米が増加、大洋州は減少					地域別 動 向	アジア、中東が増加			

（参考）ドルレートは、159.77円（前年同月比12.3%、17.45円の円安）であった。  
（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。  
注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。